様式1

平成29年度　地方創生推進交付金に係る事業実施結果報告
（各交付対象事業の重要業績評価指標（KPI）の実績値等）

都道府県名	福島県	担当部局課名	総務課				
市町村名	浅川町	担当者氏名	高野喜寛				
都道府県・市町村コード（5桁）	07504	連絡先	電話	0247-36-4121	メールアドレス	soumu@town.asakawa.fukushima.jp	

No	① 交付対象事業の名称	② 交付金の種類	③ 実績額 単位：円	④ 本事業における重要業績評価指標（KPI）					⑤ 本事業終了後における実績値		⑥ 外部有識者からの評価		⑦ 実績値を踏まえた事業の今後について	
				指標		指標値	単位	目標年月	実績値	事業効果	事業の評価	外部有識者からの意見	今後の方針	今後の方針の理由
1	若者定着、元気高齢者総活躍社会づくり事業 「事業概要」 元気高齢者が長年培ってきた経験豊富な水稲、野菜栽培、加工技術は蓄積されており、これらの技術を活用することにより若者への学ぶ機会を与え後継者づくりと世代間交流を目指す。また、昔ながらの「みそ」「漬物」の加工製造・販売により地元農産物の良さを再認識し、地産・地消を進め循環型の地域社会形成と地域の活性化を図る。さらには、自家用車を持たない買い物弱者等への対策とした移動販売車の導入、巡回バスの運行を図ることにより、販売所までの一定ルートが確保され小さな拠点を結ぶまちづくりを目指す。 事業内訳	推進交付金1次	19,324,313	指標①	農産物加工製造・販売従事者登録者数	5	人	平成30年3月	10	③地方創生に効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	・若者・高齢者の生きがいづくりを着実に進め、町の活性化に結べれば計画どおりだと思う。 失敗を恐れず計画を実行する気持ちが素晴らしい。 ・平成30年度は、人員来場者が5か月で目標達成している。 今後は、売上高に課題はあるが、少なくとも町民、利用者にとって住み良い町と言える。 ・今後も官民一体となって当町の特色を生かした事業展開をして頂きたい。 ・「あさマルシェ」はお付き合いで何か買ってくる状態で、だんだん足が遠のいていく。もう一工夫が必要。 移動販売車も徐々に品数が増えていけば、売り上げに繋がると思う。 巡回バスは試乗してみたが、有効性を見つけることができなかった。解決策も思いつかない。 ・巡回バスの運行については、多(他)面的に検討が必要。 ・農産物の加工販売は最初から完璧にできるわけがないので、試行錯誤の繰り返しで実施してほしい。 巡回バスも利用者の意見を聞き利便性を高めてほしい。	事業の継続	事業2年目により、具体的に事業が進捗し、農産物加工製造・販売事業主体として「一般社団法人元気あさかわ夢工房」が設立した。設立に伴い、事務所及び農産物加工所、農産物販売所の改修に要する補助を実施し、農産物直売所「あさマルシェ」についてもオープンした。平成30年3月26日のオープンであったため、平成29年度の目標値である来店者数1,000人、売上額10,000千円には至らなかったが、3日間の営業で290人の来場者、売上額191,672円と一定の成果が得られた。継続している平成30年度では、4月から8月まで119日の営業で3,346人の来店、2,389,365円の売上額となっており、既に平成30年度の目標値3,000人を上回っている。売上高については販売単価が少額であることもあり目標達成までには至っていない。また、移動販売車購入に要する経費の補助により、稼働日数はまだ少ないものの〇〇サロン等などの各会場にも出向き、移動販売車での事業も展開している。農産物加工製造・販売従事者登録者数については、平成29年度中に10人の登録があり、目標値である5人を上回っており、平成30年度での登録者数は20人となっている。 巡回バスの試運行においては、昨年度のニーズ調査では回答者の58%が巡回バスを利用したいとの回答結果が得られたものの、2ルートの利用実績としては、平成29年11月から平成30年3月まで58日の運行で延128人の利用実績となった。平成30年度においては6区域として運行時間、ルートの見直しを図り事業を実施する必要がる。これらのことから、課題もあるものの一定の事業効果もあり、最終年度である平成30年度の目標達成に向け各事業の継続実施が必要である。
				指標②	農産物加工品販売所来場者数	1,000	人	平成30年3月	290					
				指標③	農産物加工品販売売上額数	10,000	千円	平成30年3月	192					
				指標④										
				指標⑤										
1-1	「加工製造、販売事業主体設置運営事業」 元気高齢者連絡協議会(仮称)による加工製造・販売事業主体としての設置・運営に要する経費、移動販売車購入に要する経費の補助を実施。 「一般社団法人元気あさかわ夢工房」として設立。 事務所及び加工製造所を旧山白石保育所とし、農産物販売所については旧Aコープテナントに農産物直売所「あさマルシェ」として平成30年3月26日にオープン。		7,000,000											
1-2	「元気高齢者の登録制度事業」 元気高齢者連絡協議会(仮称)設立に向けた事務処理及び登録制度実施に要する経費の補助を実施。 元気高齢者連絡協議会設立準備会への補助及び賃金等事務経費。		2,760,535											
1-3	「販売促進PR事業」 加工製造・販売事業促進を実施。 農産物PR用のぼり旗・横幕、PR用レジ袋等購入。		343,828											
1-4	「小さな拠点づくり事業」 加工製造・販売事業主体の拠点となる空き店舗等の改修に要する補助の実施。 「一般社団法人元気あさかわ夢工房」の事務所及び農産物加工所として、旧山白石保育所を改修し、農産物販売所である「あさマルシェ」については、旧Aコープテナントを改修。		7,000,000											
1-5	「巡回バス運行事業」 買い物弱者のニーズ調査に基づいた試行的な定期巡回バスの運行を実施。 （町中心市街地と旧小学校区を結ぶ巡回バスの試行運行） ①山白石・里白石・福貴作～浅川町内、②大草～浅川町内の2ルートを、平成29年11月から平成30年3月まで、毎週月・水・金、午前・午後の2便、試行的に運行。		2,219,950											